

日時：平成31年2月14日（木） 授業公開 14：45～15：40 会議 15：50～17：00

出席者：学校評議員5名 学校職員11名

1 開会

2 学校長挨拶

学校近況報告

- ・一貫生一期生を送り出し、検証・総括を行っている最中。
- ・来年度よりカリキュラムデザイン係を発足させ、より充実した生徒の学習活動を図る。
- ・3年後の新学習指導要領に向け、骨太のシラバス作りが必要。

3 各担当より

① SSH第4期3年目の取り組みについて

・生徒発表

1) 理科班 「ミョウバンによるステンレスの腐食」

質問・意見

- ・どのような仮説を立て研究を進めたかに言及すると、もっと良いプレゼンになる。
- ・小学校から現在まで生育歴の中で、どのあたりでどんなことがきっかけとなって科学に興味関心を抱くようになったか。
- ・菓さじの腐食などという一見あり得ないようなことを目にするに至った経緯は。
- ・科学への興味関心を将来どのような方向に向け、生かして行くか。

2) 米国海外研修報告

質問・意見

- ・英文の研修報告は参加生徒が自分たちでまとめたものか。この発表も英語で行ってもよかったのでは。
- ・アメリカの自然のスケールの違いを生で見た感動がよく伝わってきた。もっと大人になったとき、若い世代に自分のした体験を伝えて欲しい。
- ・若い内に本物の経験をする事の素晴らしさ、大切さを実感できた。この体験を通して価値観が変わったというようなことはあるか。

・本年度のとりくみについて

質問・意見

- ・キャンベラカレッジの高校生との交流といった企画はぜひとも今後継続して欲しい。スカイプの利用など、環境も整ってきている。
- ・各種コンクールでの受賞はほとんどが一貫生、理数科生のように。選抜普通科の生徒の参加もあるか。選抜普通科の生徒の励みになるような工夫も必要。

- ② センター試験結果、二次試験・私大入試への取り組み
質問・意見
・東大志願者の専攻は何か。

- ③ 学校評価（学校評議員アンケート集計）について

4 質疑及び提言

- ・労働時間短縮のムードの中で、短い時間の中でも生徒がインパクトを感じるような取り組みが必要になる。本日の会議の学校側出席者、発表生徒すべて男性であり、女子生徒がリーダーシップをとれるような場作りも必要。
- ・文科省の指導もあり、大学では **Admission, Curriculum, Diploma** の3つのポリシーの具体的実現を図っているがともすると形骸化する恐れもある。松本大では、そこに **Back Up** ポリシーとこのを設けて実践している。直接生徒の支援をする実践で、屋代高校でも研究して欲しい。中学2年生の社会科の授業参観をさせてもらった。興味関心の持たせ方に工夫があって感心した。
- ・若い頃の経験を大人になって、さらに若い人たちに伝えていけるような学習体験をお願いしたい。働き方改革が一気に進んできた。学校現場の激務は承知しているが、各先生方が仕事に対する楽しみの感覚を持って前向きな気持ちで、屋代中高の生徒たちのために尽力いただきたい。
- ・高校受験生の中には、屋代高校に対し敷居の高さを感じて敬遠する者も多い。もっと屋代にチャレンジして欲しいと思うが、そうした気持ちを払拭できるような工夫もお願いしたい。選抜普通科の生徒たちが日の目を見るような取り組みをお願いしたい。

5 学校長御礼・挨拶

- ・第4通学区は、10年後9学級減の見通し。屋代がどう存続するか。屋代にしかない屋代らしさ目指して行きたい。